



まほろばの丘から



令和4年7月19日 文責 校長 江口 尋信

7月13日(水)、第37回姉妹校交流を実施しました！

太宰府西小学校は、学校創立10周年を記念して、平成元年から韓国の百済（ペクチェ）初等学校との姉妹校交流を始めました。そして、そのことを契機として、「国際理解は人間理解」という考えの下、30年以上に渡って姉妹校交流を核とした国際理解教育を推進してきました。

そういった草の根日韓交流の功績が認められ、平成28年12月には「高円宮賞」という大変大きな賞を受賞しています。

ところが、令和元年度に百済初等学校の子どもたちをお迎えしたことを最後に、新型コロナウイルス感染症のために相互訪問型の交流が実施できなくなりました。この間、これまで受け継いできた伝統ある姉妹校交流の灯を絶やしてはいけないとの思いから、百済初等学校と話し合い、令和2年度からオンラインで姉妹校交流を実施することとしました。本年度は、オンラインによる3回目（第37回）の交流ということになります。

本校の代表児童（6年生20人）がオンラインで直接交流し、5・6年生児童は、その様子を教室で視聴しました。今年の交流のテーマは、「祭り」です。百済初等学校の子どもたちは、扶余（プヨ）郡で開催されている祭りを紹介してくれました。一方、本校の子どもたちは、太宰府に古くから伝わる「鬼すべ」と「うそ替え」を見事な寸劇で紹介しました。続けて、代表児童が韓国語で自己紹介を行いました。この日に向けて代表の6年生は、一生懸命に発表と自己紹介の練習をしてきました。太宰府の祭りの素晴らしさも、子どもたちの自己紹介も、海を越えて韓国までしっかり伝わりました。最後に、百済小学校の子どもたちと本校の子どもたちで「アプロ」という歌を、日本語と韓国語で歌いました。

オンラインではありましたが、姉妹校交流を通して、言葉や文化の違いを越えてお互いに親交を深めることができました。グローバル社会を生きる子どもたちにとって貴重な体験となったことと思います。



左) オンラインで交流する代表児童(6年生)



右) うそ替えをやってみせる子どもたち

本校のホームページに、給食の献立表と「給食だより」を今後掲載する予定です。

また、夏休みに太宰府市の学校給食会が主催する「チャレンジクッキングだざいふ」の応募用紙もホームページに掲載する予定です。ご活用ください。